

一般質問

一般質問とは、議員が町の行財政全般に対し、疑問点を質問し確かめることです。
会派の代表者が質問する「会派代表質問」と、個人の議員が質問する「個人質問」があり、質問時間は答弁を含め50分以内です。



政和クラブ
森田 義弘 議員

問 初山町長の4期目に向けて問う

答 「すべての町民の幸せ」を願う

問 4期目の主な抱負は。

答 町長 具体的には、名鉄武豊駅東土地区画整理事業の推進、野菜茶業研究所跡地の利用計画の策定、知多南部広域環境組合ごみ処理施設の建設事業の推進、屋内温水プールの建設事業の推進など、大型事業を一步步つ前に進めていく。まだ時間がかかるが、「名鉄武豊駅西」ならびに「名鉄富貴駅周辺」の整備構想を取りまとめていきたい。

次に、「満足度の高い住民サービス」「持続可能な行政運営」および「役場の自己改革」の3つを基本目標に掲げ、住民の満足度のさらなる向上と、健全で持続可能な財政運営を行っていききたい。

問 今後の歳入の見通しは。

答 町長 町税については、以前のような水準は見込めないことから、依然不透明な状況にある。今後5〜6年は厳しい状況が続くと想

定しているが、消費税率の変更などにより、歳入全体では、今後も現状は維持できるものと考えている。

問 自主財源の確保・増額についての取り組みは。

答 総務部長 「未利用地の売却」「広告収入等、税外収入の確保」と「使用料・手数料の見直し」を実施項目として取り組んでいる。

問 福祉や教育での町単独事業について、今後も堅持できるのか。

答 町長 4期目のマニフェストにも、福祉対策の維持・充実、教育環境の充実を掲げた。子どもたちは、

まちの将来を担う大切な宝であり、心と体が健やかに成長できるように、そつした願いを込め、行政としての役割をしっかりと

果たす。

すべての町民がさらなる幸せを感じられるよう、福祉、教育施策については、今後も可能な限り堅持していきたい。

問 名鉄武豊駅西側の再開構想の今後のスケジュールは。

答 町長 名鉄武豊駅西側エリアの長期的な将来像は、まちの顔として、にぎわいを生み出す重要な地域となることが想定される。

このことから、構想には時間をかけ、議員の皆さま、町民の方々、学識経験者など、より多くの皆さまからご意見をいただき、一緒にまちづくりを検討していきたい。

また、今年度は、関係する部署（企画政策課・都市計画課・土木課・産業課・総務課・防災交通課の6課）の職員で、駅西の将来像を検討するプロジェクトチームを立ち上げた。

武豊町民の皆さん

スロマガ

「住んでみたい住んでよかった 武豊町」

- 1. 安全で安心できるまち**
第6次総合計画の策定作業、名鉄武豊駅西のランドデザイン、地域防災・防犯活動の充実など
- 2. 住民と行政との協働のまち**
各種ボランティア団体の育成・支援、広報・広聴活動の充実、地域交流イベントの充実など
- 3. 暮らしやすいまち**
福祉・環境対策の維持・充実、ゴミ処理建設計画の促進、若者が住みやすいまちづくりなど
- 4. 教育環境の充実と子育てがしやすいまち**
教育環境の充実、屋内温水プールの建設、認定こども園の導入など
- 5. 都市基盤の整備と活力あるまち**
幹線道路・生活道路整備、武豊駅東土地区画整理事業の推進、富貴駅周辺整備構想など
- 6. 楽しい生活のできるまち**
農・商・工バランスいい発展、野菜茶業研究所跡地利用計画策定、伝統・文化の保存・育成など



初山よしてる後援会

会長 中本恒治 住所：愛知県知多郡武豊町大字富貴字郷北11番地 電話：0569-72-2416



きずな
石原 壽朗 議員

商工業発展にさらなる支援を

問

関係者と連携していく

経済の国勢調査ともいえる「経済センサス」のデータを時系列に調査し、今後のまちづくりを考える。

町内で過去5年間に27事業者が減少

問 特に飲食業・小売業の減少が多く、まちの魅力が低下しているが対策は。

答 町長 地域活性化につながる事業として「味の蔵(けとよ)」や「地域交流センター」「屋内温水プール建設」を推進している。

その他にも「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げた「たけとよめし推進事業」「知多半島回遊性向上事業」などを通じて、町の魅力向上や経済の活性化に努めていく。

問 高齢化を背景に社会保険・社会福祉・介護事業者が大きく伸びているが、参入事業者への支援は。

答 健康福祉部長 起業時相談

のほか、事業指定を所管する愛知県との連携。起業後の支援では、介護支援専門員対象の会議に参画を促し、事業の円滑運営を支援している。

問 知多武豊駅東区画整理事業に続き、駅西グラウンドデザイン検討、富貴駅周辺整備構想も始まった。これらに商工業発展・支援に繋がる施策が盛り込まれるか。

答 企画部長 駅周辺の活性化につながるように、全庁挙げて検討していく。

県の補助制度活用を

問 愛知県にも多くの産業支援制度がある。特に設備投資を支援する「新あいち創造産業立地補助金」は、中小企業の投資も対象としており、積極的に活用するべきだが考えは。

答 副町長 投資額の1割を県と町で補助する制度のため、町としても大きな金額が必要となる。同様の補助制度で県単独の補助金を紹介した事例もあり、今後も事業者の相談に対応する。

公契約の広域的な検討を

問 愛知県や豊橋市、碧南市で、公共事業において下請け労働者賃金へのしわ寄せや品質低下などを防ぐ「公契約条例」が制定された。中小事業者の育成・支援のために、広域での公契約について議論を進める時期ではないか。

答 総務部長 現状、公契約についての広域的な情報交換はないが、入札状況や他の支援制度などの情報収集を継続していく。



産業まつりの風景



公明党議員団 富永 良一 議員

高血圧症抑制のため 血圧計設置を

健康相談などで希望者の血圧測定

公共施設に血圧計の常設を

問 「大迫モデル」のような取り組みを武豊町で実施できないか。

答 健康福祉部長 「大迫モデル」は、家庭で測る血圧値が、高血圧症の診断や重症な生活習慣病の発症予測に役立つことを明らかにし、住民健康意識の向上や医療費の削減につなげた研究と聞いている。

町民のみなさんの健康行動の動機づけとしては参考となる部分はあると思われる。

問 現在、血圧計を設置してある施設は何力所か。

答 健康福祉部長 役場、保健センター、総合体育館の3力所である。

問 総合体育館の血圧測定は、申し出が無くても測定できるように、ロビーなどに設置できないか。

答 教育部長 体育館においては、使用状況をみて考えていく。

問 血圧計の貸し出しは可能か。

答 町長 現在ある血圧計は、健診などで使用する医療用のものであり、家庭用の自動血圧計ではないため、貸し出しできる血圧計はない。健康相談などで、希望される方に血圧測定を実施している。

問 平成28年の、愛知県による生活習慣調査結果では、ひと月に1回体重測定をする人が70%に対して、血圧測定をする人は35・8%である。これは、血圧計が身近にないためと思われる。まずは、憩いのサロン会場に、血圧計の設置をしてはどうか。

答 健康福祉部長 現状においては考えていない。今後いろいろな機会の中で、町民の方々に血圧測定

をしていただく方法を考えていきたい。



■血圧計

公共施設のトイレ状況は

問 小中学校の改修にあたり、学校施設環境改善交付金の活用はなされたか。

答 教育部長 補助率3分の1の補助金にて改修工事を行った。

問 一次開設避難所のトイレの洋式化率は何%か。また、多目的トイレは何基あるか。

答 防災交通課長 トイレの洋式化率は57・5%で、多目的トイレは17基である。

問 公園のトイレ（吉町田湿地、運動公園、自然公園）の洋式化が進んでいない。中でも吉町田湿地、自然公園のトイレは男女兼用である。

吉町田湿地は愛知県の天然記念物であり、開放期間の来場者は、過去3年の平均で635人である。町外からの観光客を迎えるトイレとしては、早急に改善が必要ではないか。

答 教育部長 一般開放にあたり配慮がなかった。改修計画に載っていないが、早急の改修要件だと思つた。



■吉町田湿地のトイレ